

「ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実践的展開」 ～自律的キャリア形成を支援するために～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 香川支部
求職者支援課

1. はじめに

令和2年10月12日に「ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの実践的展開」といったテーマで、公的職業訓練の実施機関向けの講習を開催しました。

求職者支援訓練においては、ジョブ・カードを訓練実施機関が作成支援することとなっており、その効果的な活用及び多様な受講者への円滑な対応が求められています。そこで、今回は「ジョブ・カードの効果的な活用」と「自律的キャリア形成支援」といった内容を取り上げて講習を行いました。



2. ジョブ・カードの効果的な活用について

ジョブ・カード様式には「①生涯を通じたキャリア・プランニングツール」及び「②職業能力証明ツール」といった2つのコンセプトがあります。このジョブ・カードを職業訓練の就職支援にどう活用していくのかといった視点で、今回は想定する支援対象者を受講者に絞ったグループワークを通じて、ジョブ・カードの効果的な活用法を考えました。

各実施機関からの課題を挙げて頂いた上で、ジョブ・カードの効果的な活用方法として、「①ジョブ・カードを作るプロセスそのものが能力開発や就職準備に繋がる」、「②限られた時間の中で落とせない支援が何かを意識する」、「③訓練の冒頭での活用によって訓練目標を確認する」といった3つのポイントを紹介しました。

3. 自律的なキャリア形成を支援するために

自律的なキャリア形成の「自律」とは何なのか。なぜ今、「自律的なキャリア形成」が必要とされるのかを、現代の日本が直面している労働環境の変化といった話から入り、現代は「自分のキャリアには自分が責任を持つ『キャリア自律』の時代」とあるとの解説を行いました。その中で、キャリアが一時点だけで作られるものではなく、過去ー現在ー未来という時間の流れの中で構築されていくことに着目し、失業や不安定雇用といった離転職を繰り返して、職業に継続的な意味を求められない現代においては、自らの人生を一連のストーリーとして解釈し、自分の中に意味や価値を認め、働くことの意義を感じ、自分としての生き方を見つけるといったキャリア形成支援が必要だとの解説を行いました。

4. 実践的展開について

実践的な技法としてアンカリング、フィードバック技法、結語転換を紹介し、それぞれの技法や自律的なキャリア形成支援を意識し、参加者全員でロールプレイングを行いました。



5. 終わりに

終了時のアンケートでは、「具体的な話があり、最後のロールプレイングで実際にそのテクニックを使ってみるという授業の進め方がとても良かった。」、「とてもわかりやすい説明で、勉強になりました。」、「ジョブ・カードの記入、活用方法についても再度見直し、うまく取り入れいきたい。」といった声を頂きました。

今回の講習が、受講者の就職支援に役立ち、訓練の質の向上に繋がることを願っています。